

九州農政局 新技術・新工法 一覧表																	
1. 番号	2. 工種番号・分類(その1)	3. 工種番号・分類(その2)	4. 新技術の名称	5. 新技術の概要	6. 登録年度	7. 更新年度	8. 組織名(会社名)	9. キーワード(その1)	10. キーワード(その2)	11. 施工実績(件数)						12. 担当者所 属・氏名	13. 担当者メールアドレス
										国営	公団営	県営	団体営	その他公共	民間		
	9 管水路(バイブライ ン)工	9 管水路(バイブライ ン)工	L-P I P工法	L-PIP工法は、老朽 化した既設管内に更 生管(FRPM管)を接 合後、ジャッキによ り順次挿入する工 法で、特殊な設定 がない限り既設管 と更生管の隙間に 中込材は打設しな いことを原則とし る。また管と既設 管の間に摩擦低減 材を設置して、更 生管表面の損傷防 止と挿入荷重軽減 を図っている。ま た、L-PIP工法で は更生管の継手 部に離脱防止機構 を設けており、耐 震性向上が図れる ことに加え、耐用 年数を経過した更 生管を引抜き、新 たに同口径の管を 挿入することも可 能となる。	2020		株式会 社栗本 鐵工所	12 施設の長 寿命化	15 補修工 法	0	0	1	0	0	1	化成品事業部 西部営業部 九州営業課 長谷川 一仁	k.hasegawa@kurimoto.co.jp

記入要領

※記入に当たっては、列数は変更(挿入)しないこと。セルの結合も行わないこと。

1. 番号

2. 工種番号・分類(その1)

3. 工種番号・分類(その2)

4. 新技術の名称

5. 新技術の概要

6. 登録年度

7. 更新年度

8. 組織名(会社名)

9. キーワード(その1)

10. キーワード(その2)

11. 施工実績

12. 担当者所属・氏名

13. 担当者メールアドレス
- 記入不要

下記の工種分類表を参考にドロップダウンで選択

上記「2. 工種番号・分類(その1)」以外に分類する必要がある場合は、ドロップダウンで選択

名称を記入

新技術の概要を簡略に記入

登録年度を記入する。今回は再提出(更新)の場合、当初年度を記入

更新の場合に当該年度を記入

組織名、参画社名を表示(複数の場合は全社を記入)

下記のキーワード選択表を参考にドロップダウンで選択

上記「9. キーワード(その1)」以外に加えるキーワードがある場合は、ドロップダウンで選択

項目別に件数のみを記入(※半角で記入)

国営、公団営、県営、団体営の欄は、NN事業に係るもの。その他公共は、国交省等の公共事業関係、民間は公共事業以外

担当者の所属、氏名を記入

担当者の連絡先のメールアドレスを記入(※メールアドレスはHPには非公開)

工種分類表

工種番号・分類	備考
1-1 フィルダム	シールド工含む
1-2 コンクリートダム	
2 頭首工	
3 ポンプ場	
4 ほ場整備	
5 農地造成工	
6-1 農道(道路)	
6-2 農道(橋梁)	
6-3 農道(トンネル)	
7-1 水路工(開水路)	
7-2 水路工(暗渠)	推進工含む
7-3 水路工(水路トンネル)	
7-4 水路工(水路橋)	
7-5 水路工(サイホン)	
8 河川及び排水路工	
9 管水路(バイブライン)工	
10 畑かん施設工事	
11 干拓工事・海岸堤防	
12 たの池	
13 ファームポンド	
14 農地保全	
15 法面保護	
16 農村整備	
17 農業集落排水工	
18 環境保全	
19 水管理施設	
20 ゲート・バルブ	
21 除塵機	
22 土壌改良	
23 公害対策	
24 基礎工	
25 仮設	
26 その他土木工事	
27 その他施設機械	
28 建築	
29 計画・設計技術	
30 測量技術	
31 情報化技術	
32 その他	

キーワード選択表

キーワード
1 農業生産性向上
2 高付加価値型農業
3 生活環境
4 自然環境
5 景観保全
6 生態系保全
7 国土保全
8 コスト削減
9 施設管理
10 施工作業効率
11 施工精度
12 施設の長寿命化
13 機能診断
14 予防保全
15 補修工法
16 災害復旧
17 安全性の向上
18 その他